

令和2年度 第2回 大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会 会議概要

- 〇 日 時：令和2年12月23日（水） 15：30～
- 〇 場 所：エディオンアリーナ大阪 大阪府立体育会館 第4会議室
- 〇 出席状況：【委員】 4名（奥村 圭、小林 幸治、山岡 秀雄、山田 尚史）
※下線委員長
欠席委員 1名（岡澤 祥訓）
【事務局】 教育庁保健体育課 首席指導主事1名、総括主査1名、
副主査1名、主事1名
【傍聴者】 0名

- 1 開 会 事務局が開会宣言
- 2 あいさつ 大阪府教育庁を代表して保健体育課首席指導主事があいさつ
- 3 議 事（委員：▲、事務局：△）
委員 長：大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会規則第5条第2項により、本日の出席は、委員4人で過半数以上となっており、本委員会は有効に成立していることを確認。

（1）報告事項

- ①指定管理者自己評価について
- ②大阪府教育庁教育振興室保健体育課評価結果について

（2）議題事項

- ①評価委員による評価及び指摘、提言について
指定管理者の評価および指摘、提言について
 - ・ 資料2（令和2年度指定管理運営業務評価票）に沿って事務局が説明
- ②今後のスケジュールについて
 - ・ 資料1（大阪府立スポーツ施設の指定管理者の評価について）に沿って事務局が説明

議題① 評価委員会の評価及び指摘、提言について

- ・ 報告事項の①及び②について、資料2（令和元年度指定管理運営業務評価票）に沿って事務局が概要説明した後、評価委員会の評価及び指摘、提言を受ける。
- ・ 説明は、臨海スポーツセンター⇒体育会館⇒漕艇センター⇒門真スポーツセンターの順に行い、府と指定管理者の評価の違う点等を中心に評価の詳細を説明。

【臨海スポーツセンター】

《令和2年度指定管理運営業務評価票の説明》

- ・ I－（6）－② 提案どおり実施されているか
スケートリンクが通年利用できることが近隣市民に対し十分に浸透できていない部分があるため、今後さらに利用者拡大等につなげるような実施をしていただきたいということから減点とした。
＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点＞

- I－(1)－② 提案した管理運営方針に沿った管理
各種教室及びイベント等を積極的に実施しているところから、スポーツ振興、地域の健康増進に貢献していると判断し「良好」の3点とした。
※評価点の変更なし
- I－(3)－② 広告・広報計画等の情報発信の取組
令和2年度の目標数字は令和元年度実績と比較すると少なく感じられるが、4月・5月の休館を加味した目標となっていること、駅構内ポスター掲示、高石市と協力してのチラシの配布等を実施していることから「良好」の3点とした。
※評価点の変更なし
- II－(2)－① さらなるサービス向上の取組
自主事業参加者数・自主事業収入状況ともに前年度より数字は下がっているが、新型コロナの関係で4月・5月に休館があったところが大きな要因である。その中でも第2四半期は例年とほぼ変わらない実施事業収入を確保しており、かつ6月以降は感染症対策とともに利用者拡大に向けた実施事業を行っていることから「良好」の3点とした。
※評価点の変更なし
- III－(2)－② 管理監督体制・責任体制
昨年度指摘のあった監視員の教育徹底・事故発生時のマニュアルやフォローについては、今年度から監視員の教育内容を事業計画書に記載し、研修への参加を確実に実行。また業務委託先とのグループミーティングを密に行う等、安心安全な利用に向けた運営体制を構築しており、管理体制が整っているとの判断から評価点数を3点とした

《質疑応答》

- ▲屋上部分の腐食による雨漏りについて、スタッフが屋上でシートを貼る作業の安全確認をしっかりとっていただきたい。また、維持・修繕に対応するのは指定管理者か大阪府かわからないが、できるだけ補修していただきたい。
- △雨漏りの改修については部分部分ではあるが、大阪府で可能なところを行っている。本来は大掛かりな改修工事の必要があるが、今年度はコロナの影響等で事業の見直しがあり予算の関係でできていない状況。

《評価委員の評価結果》

- 府と評価委員の評価は同じ。
- 指摘・提言：I－(5)－① 施設の維持管理等で危険を伴う作業については、安全確保を徹底し、十分に安全か確認することが必要

【体育会館】

《令和2年度指定管理運営業務評価票の説明》

- I－(3)－② 年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み
コロナの影響で利用者が減少し指定管理者の自己評価が下がっているが、ほぼ提案通りの運営が行われているため2点「ほぼ良好」の評価とした。
<指定管理者の評価点：1点 ⇒ 府の評価：2点>
- I－(4)－② 自主事業の取組み

I－(3)－②と同様の理由で指定管理者の自己評価が下がっているが、6月から自主事業が再開され、提案通りのことが行われているため3点の評価とした。

<指定管理者の評価点：2点 ⇒ 府の評価：3点>

- ・ I－(6)－① 広告収入等の収入確保の取組み、

I－(6)－② 提案どおり実施されているか

コロナの影響で広告収入を得ることが難しい状況の中、広告収入を得る努力をされているため「ほぼ良好」2点とした。

<指定管理者の評価点：1点 ⇒ 府の評価：2点>

- ・ II－(2)－① さらなるサービス向上の取組み

4月・5月はコロナで休館となり自己評価点が1点となっているが、6月以降は教室を再開されているため評価点を3点とした。

<指定管理者の評価点：1点 ⇒ 府の評価：3点>

- ・ III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力および財政基盤に関する事項－(1)(2)(3)

特段減点の理由はないが、概ね普段通りの実施状況であったことから「ほぼ良好」3点とした。

<指定管理者の評価点：4点 ⇒ 府の評価：3点>

- ・ I－(4)－③ 施設設備、機能の利用

昨年度、トイレの場所が分かりづらいため、案内図などの対応が必要という提言があった。案内方法を指定管理者と協議し、案内図を改善したとの口頭報告があった。

※評価点の変更なし

《質疑応答》

▲ I－(2)－① 公平なサービス提供、対応状況について、府立体育会館のホームページ上で空き状況の確認ができなかった。空き状況の項目をクリックしても情報が出てこなかった。確認できるようにしてもらったほうが利用者にとってはありがたい。

△弊所の空き状況が確認できない時があったということですね。ご意見として承り、こちらで状況を確認し報告いたします。

《評価委員の評価結果》

- ・ 府と評価委員の評価は同じ。
- ・ 指摘・提言：なし

【漕艇センター】

《令和2年度指定管理運営業務評価票の説明》

- ・ I－(3)－① 利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み

新型コロナウイルスの影響によりほとんどの大会が中止となったが、9月には感染症対策を徹底の上、全国高等学校のボート選手権大会、翌週にはワールドマスターズの西日本選手権が開催された(それぞれ4・5月開催予定を延期)。ワールドマスターズにおいては9月26、27日の両日で約800人が訪れ、施設利用者数が例年の第2四半期を上回った。

※評価点の変更なし

- ・ II－(2) 自主事業

例年であればボート協会主催のボート教室や市民向けレース等の自主事業が予定されていたが、新型コロナの影響ですべて中止となり、上半期の実績としては0人となった。また今後1月、2月の間でボートの安全対策等について自主事業を検討中だが、コロナの影響が大きくなってきたため、中止もしくはリモートでの開催を検討している。

※評価点の変更なし

・Ⅲー（1）収支計画の内容、適格性及び実現の程度

昨年度よりも収入・支出ともに減少している。コロナの影響による閉館、その後の練習自粛、大会や練習の中止による施設利用者の減少が収入減につながっている。また施設を使っていない期間の光熱費や維持管理費の減少により、支出減となっている。

※評価点の変更なし

・Ⅰー（5）施設の維持管理の内容、適格性および実現の程度

指定管理者が建物の維持補修を主体的に取り組むという昨年度の指摘・提言に関しては、指摘のあったクレーン2カ所の修繕を含め、非常照明の補修を行い、現在は栈橋の補修について進めており、昨年度の指摘・提言については改善されていると考えている。

・Ⅱー（2）自主事業

自主事業の告知等をホームページでもおこなうことといった指摘・提言について、今年は告知を行っていたものの、告知内容のほとんどが新型コロナの影響による大会・教室の中止や延期の連絡となっており、利用者の増加につながっている現状ではない。コロナの影響も踏まえつつ、今後はこれまで以上にホームページを活用し、利用者の増加につなげていきたい。

《質疑応答》

▲漕艇センターの評価点について、他施設の評価と比較するとバランスが気になる。16ページⅠ（6）収入確保の実施、広告収入等の収入確保の取組みについて、コロナだから広告収入が途切れているということだが、以前から難しいのか。

△漕艇センターはもともと特殊な施設であり、なかなか広告収入も厳しいため、他施設のようにはいかない現状がある。

▲ボート教室は行っているのか。

△通年であれば行っているが、今年は1回も行っていない。

▲16ページ一番上の建物の維持補修、安全面が気になる。毎年可能な範囲でというよりは、5年間でどのような部分をどのように、どこまで補修していくのか、漕艇センターと大阪府で相談し利用者が安全に利用できる施設にしていきたい。

▲「管理運営マニュアルに基づき」と書いてある所があるが、コロナ対策のマニュアルはあるのか？施設、設備等触れるところの消毒はしているのか。

△コロナ対策として受付にパーティション、入口にアルコール消毒液を設置している。触れるところの消毒は適宜行っていたらいい。休館から開館するにあたり各施設から消毒等の感染マニュアルをだしてもらっており、漕艇センターからも出してもらっている。

▲全国高等学校ボート選手権特別大会はどれぐらいの規模で行ったのか。全国となっているので全都道府県から参加があったのか。

△大阪ということで断られたのもあり、インターハイで出場する数よりは少ない。47都道府県全部ではない。

▲大阪でやるようになった経緯は。

△本当は北関東だったが、分散開催ということで、オリンピック・パラリンピックと重なっ

ているので、大阪にボートをやってくれという要請があってそれを受けたが中止になったので。

▲それをそのままやった。

△はい。

▲I（1）評価点について、これでいいのか、両方2点にしたらBになるとか。

△両方2点にするとBになります。

▲AかBかどちらかぐらいの決め方でいいのですかね、評価委員会。

△この点数が3点というのではなく2点ということであれば、両方とも他の施設と合わせますと2点ということに。

▲他施設とのバランスをそんなに気にする必要がないのであれば、頑張っておられるので3点でいいと思います。

▲例えば府立体育館より点数が高いのはどうなのか。

△実現できていないということは他施設も同じですので、そこは横並びの2点ということで修正させていただけたらと思います。①広報収入等の収入確保は2点とさせていただきたいと思います。

▲評価は変わらない？

△2点と3点で5点ですので、「A」という評価は変わりません。

《評価委員の評価結果》

- ・府と評価委員の評価は同じ。
- ・指摘・提言：I－（5）－① 建物の維持補修について、指定管理者との間で5年計画を立てて実施すること。

【門真スポーツセンター】

《令和2年度指定管理運営業務評価票の説明》

- ・I－（3）－① 利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み
ヨガ等の有料プログラムを導入した運営をしていただいているがコロナの影響で伸び悩みがあり、なみはやスイムフェスティバル等も開催中止。空いた利用枠等で誘致活動をされているが開催できておらず実績が上がっていない状況であるため、最高評価点である4点とするのは難しいと判断し「良好」の3点とした。補足として駐車場利用も伸び悩んでいるものの、駐車場機器の更新により高額紙幣やICカードも対応可能となったことから利用者から好評をいただいている。
<指定管理者の評価点：4点 ⇒ 府の評価：3点>
- ・I－（6）－② 提案どおり実施されているか
屋外広告の実績がないということで最低点評価だったが、管内の壁面広告等についてはしっかり取り組んでいただいているため1点加点して「概ね良好」の2点とした。また指定管理者の評価のところスケートの実施時期に横断幕を設置予定とあり、現在はメインアリーナに、縦1.6m（メートル）、横幅13.5mの少し大きめの横断幕を告示を踏まえて掲示している。メインアリーナの周りに対しても、広告用の立てかける旗を10本程度、スケートの広告の意味も踏まえ立てかけている現状である。
<指定管理者の評価点：1点 ⇒ 府の評価：2点>
- ・II－（3）－① その他創意工夫の取組み

建物の清掃作業や清掃に対する意識向上の取組についてはどの施設でも共通でおこな
っていただいていること、また施設の維持管理についてはまだ提案(資料5の p.157)
以上のことを行われていないことから1点減点とした。

<指定管理者の評価点：4点 ⇒ 府の評価：3点>

・Ⅲ一（１）収支計画の内容、適格性及び実現の程度

前回評価委員会にて指摘・提言のあったプール補助券の販売向上に努めることについて、
最寄り駅である門真南駅にプール補助券の広告ポスターを掲示している。コロナの影響
がある中、今年の10月時点では一般利用者が増加、プール補助券についても昨年度の
同じ時期より使用率が向上しているため、引き続き販売増加に取り組んでいきたい。

※評価点の変更なし

《質疑応答》

▲横断幕は広告なのか。

△そうです。門真スポーツセンターでスケートをしている広告、私自身は見えていないが、施
設の指定管理者からの広告のために、横断幕をかけていると聞いている。

▲Ⅰ一（１）—③のアクティブシニアパートナー、まいど子どもサービスの利用実績が非常
に低い。アクティブシニアパートナー、まいど子どもサービスについてあまりよく分かっ
ていないのだが。

△アクティブシニアパートナーについてははっきりとわからないが、まいど子どもカードは
大阪府の子ども施策の一つで、それを持っていれば利用料が割引されるという制度。

▲出回っているものですか。

△あんまり。

▲少しこの数字を見ると残念。そもそも高齢者のアクティブシニアパートナー制度のことを
知らないし、お子さんを持っている世帯もまいど子どもカードをひよっとしたら知らない
のではないかと、具体的に聞いたら利用されるはずだ。

△どういうところで割引できるかまで認識されていない方がおられるのではという気がし
ますけれども、他の部局のところでも私も分からない。

▲他の部局の制度に意見するわけではない。指定管理者として対応できること、例えば、館
内に「こんなのが利用できますよ」という掲示をしてはどうか。

△11月に試合でサブのほうに行ったのだが、床の色が黄ばんでまだらになっているような
状態だった。きれいになったほうが良いと思う。

▲現状フローリングについての報告はなく、修繕会議については大阪府で主にとということで、
提案後の内容については触れられていない。フローリングの修繕については、毎月修繕の
会議が門真スポーツセンターでおこなわれているので、そこでサブアリーナのフローリン
グ改修について提案してみようと思う。

△悪い場所、一部張り替えなどは終わっているのか。

▲部分部分でやっていっている。全部一度に行えば多分きれいになるのであろうと。

《評価委員の評価結果》

・府と評価委員の評価は同じ。

・指摘・提言：Ⅰ一（１）—③ 社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み
館内にアクティブシニアパートナー、まいど子どもサービ

スの利用案内を掲示する。

議題② 今後のスケジュールについて

- 資料1に沿って、事務局がスケジュール概要を説明
- 指摘・提言に基づき、改善のための対応方針を作成する。
- 評価結果及び対応方針を、評価委員の確認後、ホームページ上において公表する。

5 閉会

- 事務局が閉会宣言を行う。